

2023年12月11日

第168号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：滝野寿・深澤恵治
 編集担当者：日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

◆九州支部医学検査学会でのブース活動報告
今年の連盟内容
 ◆栃木県医学検査学会でのブース活動報告
 ◆首都圏支部・関甲信支部医学検査学会でのブース活動報告

九州支部医学検査学会でのブース活動報告

10月21日～22日（日）佐賀市において、九州支部学会が行われた際に、第2会場の入口付近に連盟ブースを設置。昨年同様九州8県の支部にてブースの担当を振り分けて、連盟の活動を画面で紹介したりチラシを配ったりして入会の勧誘を行った。ただブースの場所が奥の方に位置していたので会員の目に留まらない状況であったと思われる。連盟加入は1名であった。

九州ブロック長 瀧口 巖



栃木県医学検査学会でのブース活動報告

令和5年11月12日（日）に自治医科大学教育研究棟において第41回栃木県医学検査学会が開催され、機器展示会場に日本臨床検査技師連盟のPRブースを設置いたしました。ノベルティーであるクリアファイルの中に連盟ニュース166号、167号、加入案内、払込取扱票を入れ配布をいたしました。また、技師連盟ののぼり旗を立て、啓発ビデオ

の放映も同時に行いました。連盟ブースに立ち寄り下さる方は少なく、立ち寄っていただけた方々は年配の方がほとんどでしたが、中には啓発ビデオの内容について質問をしてくださる若い方もおられましたのでブースを設置して良かったと思える瞬間もありました。連盟ブースを受付付近、またはドリンクコーナー（休憩所）付近への設置をお願いいたしておりますが、学会運営上かかないませんでした。今後、地臨技学会でも連盟ブースを設置する場合、学会運営側との打ち合わせ（連盟側の意図や要望）が必要と感じた日となりました。

栃木県支部長 八木澤 壽

首都圏支部・関甲信支部医学検査学会でのブース活動報告

令和5年11月25日（土）～11月26日（日）パシフィコ横浜アネックスホールにおいて第59回首都圏支部・関甲信支部医学検査学会、テーマ「温故知新～技と知識の伝承・熱い2日間～」が行われ、そこに日本臨床検査技師連盟のPRブースを設けました。久しぶりの現地開催のみということも重なってか、学会の参加者は約1,200名にも上り盛況な会となりました。連盟ブースでは啓発動画の放映し、配布資料はクリアファイルに加入案内、連盟ニュース、払込票を入れた物を400部準備しました。会が盛況なこともあり、配布資料は初日に全て配布することができ、たくさんの方に連盟のアピールができたことを実感いたしました。これをきっかけに政治への関心が高まり、会員が増えることを期待したいと思います。

神奈川県支部長 佐藤克亘

